

研究の仮説	具体的な根拠をもって話し合う活動を充実すれば、袋田の滝にかかわる大子町の人々の思いを様々な角度からとらえて考えを深めることができるだろう。
-------	---

1 単元名 特色ある地いきと人々の暮らし・袋田の滝をいかすまち（大子町）

2 目標

- 大子町の人々の生活に関心をもち、意欲的に調べるとともに、その特色やよさを考えようとしている。
(社会的事象への関心・意欲・態度)
- 袋田の滝の観光客数に着目して学習問題や予想、学習計画を考え表現するとともに、大子町の人々は袋田の滝に代表される豊かな自然をいかしたまちづくりをしていることを考え適切に表現することができる。
(社会的な思考・判断・表現)
- 大子町の人々の生活について、地図や資料、インターネットなどを活用して情報を集め、よりよいまちづくりに努めている様子を読み取り、整理してまとめることができる。
(観察・資料活用の技能)
- 大子町の人々が、豊かな自然を保護・活用して、特色あるまちづくりに取り組んでいることを具体的に理解している。
(社会的事象についての知識・理解)

3 指導にあたって

(1) 児童の実態（男子15名、女子14名、計29名）

児童は、これまでの社会科の学習を通して、水戸市は偕楽園や弘道館に代表される歴史的な文化遺産が有名であることを知っている。『偕楽園記』や『先人の教え』の暗唱にも取り組んでおり、水戸市が歴史や文化を大切にしていることに漠然と気付いてはいるが、水戸市の町づくりの特色であるというとらえかたには至っていない。

また、児童は、2学期に県全体の地形や交通の特色について学習し、県内の様々な地域に興味をもちつつある。家族でのお出かけやスポーツ少年団の活動、親類の家への訪問などで、いろいろな場所に出かけている児童も多い。しかし、訪れた施設や場所そのものの様子は分かって、そのまわりの土地の様子までとらえている児童はほとんどいない。一方で、出かけた経験があまりなく、水戸市以外の様子をほとんど知らない児童もいる。大子町については、3分の1程度の児童が行ったことがあり、その多くが袋田の滝を訪れている。しかし、近隣の市町村と比べると身近な場所ではなく、具体的な町の様子を知っている児童は少ない。

(2) 教材観

本単元は、学習指導要領の内容(5)のウにあたる。自然環境、伝統、文化などの地域の資源を保護・活用している地域や、そこに見られる人々の生活を調べることを通して、県全体の特色のよさを具体的に考えることができるようになるものである。自然環境、伝統や文化、産業などから見て、自分たちの住んでいる市とは異なる地域を選択して調べ、比較しながら県全体の特色をとらえることができるようになることがねらいである。

県北部に位置している大子町は、県有数の観光地として知られ、茶、リンゴ、こんにゃく、奥久慈しゃも等の特産物も多い。観光の中心となっている袋田の滝は、四季折々に姿を変えることや四段に流れ落ちるところから、四度の滝とも呼ばれている。平成20年には新観瀑台が完成し、滝の全景を上から眺めることができるようになった。マスコットキャラクターの決定、ライトアップの実施など、滝をPRする活動も活発に行われている。町役場や観光協会の人だけでなく、観光ボランティアや袋田清流会など様々な人たちが滝とかかわりながら観光業の発展に向けた活動を行っている。豊かな自然をいかしたまちづくりをしている地域として、学習指導要領のねらいにせまることのできる学習材であるといえる。

(3) 指導観

本単元では、大子町の観光の中心である袋田の滝を、豊かな自然を象徴するものとしてとりあげ、袋田の滝に90万人もの観光客が集まる理由を考えさせていくことを通して、特色ある町づくりに気付かせていきたい。

観光客がたくさん集まる理由についてせまるために、児童の予想を生かした視点に基づいて調べ学習を展開する。その際には、パンフレット、ちらし、新聞記事、インターネットなどを活用して児童が自分の力で具体的に調べられるようにする。また、手紙や電話での聞き取り調査などを行い、滝にかかわる人々の生の声にふれることを大切にして、一人ひとりが地域の人々と主体的にかかわりながら追究できるようにしたい。

袋田の滝に観光客が集まる理由について話し合う際には、袋田の滝に対する人々の思いを様々な角度から考え、立場は違っても滝を大切に守り生かそうとする気持ちは同じであることに気付かせたい。調べたことかから考えたことを前もって書いておくようにし、それをもとにして述べることで、それぞれの考えの根拠を明らかにしながら話し合いが進められるようにしたい。また、話し合いの後に書く活動を取り入れ、自分の考えを比較しながら、その広がりや深まりを実感できるようにしたい。

豊かな自然をいかしたまちづくりをしている大子町を知り、自分たちの住んでいる水戸市と比較して類似点や相違点を見いだすことは、水戸市の町づくりの特色に気付くことにもつながると考えられる。このようにして、大子町や水戸市の町づくりの特色を知ることは、茨城県全体の特色をとらえる手がかりにもなるであろう。この学習をきっかけとして、水戸市だけでなく茨城県全体のよさを知り、自分の住んでいる県に愛着をもって生活できるようにしていきたい。

4 本時の指導

(1) 目標

- 袋田の滝にどうやって90万人もの観光客を集めているのか人々の活動を中心に話し合うことを通して、地域の人々の滝に対する思いや願いをまちづくりの特色と結びつけて考え、自分の言葉で適切に表現することができる。(社会的な思考・判断・表現)

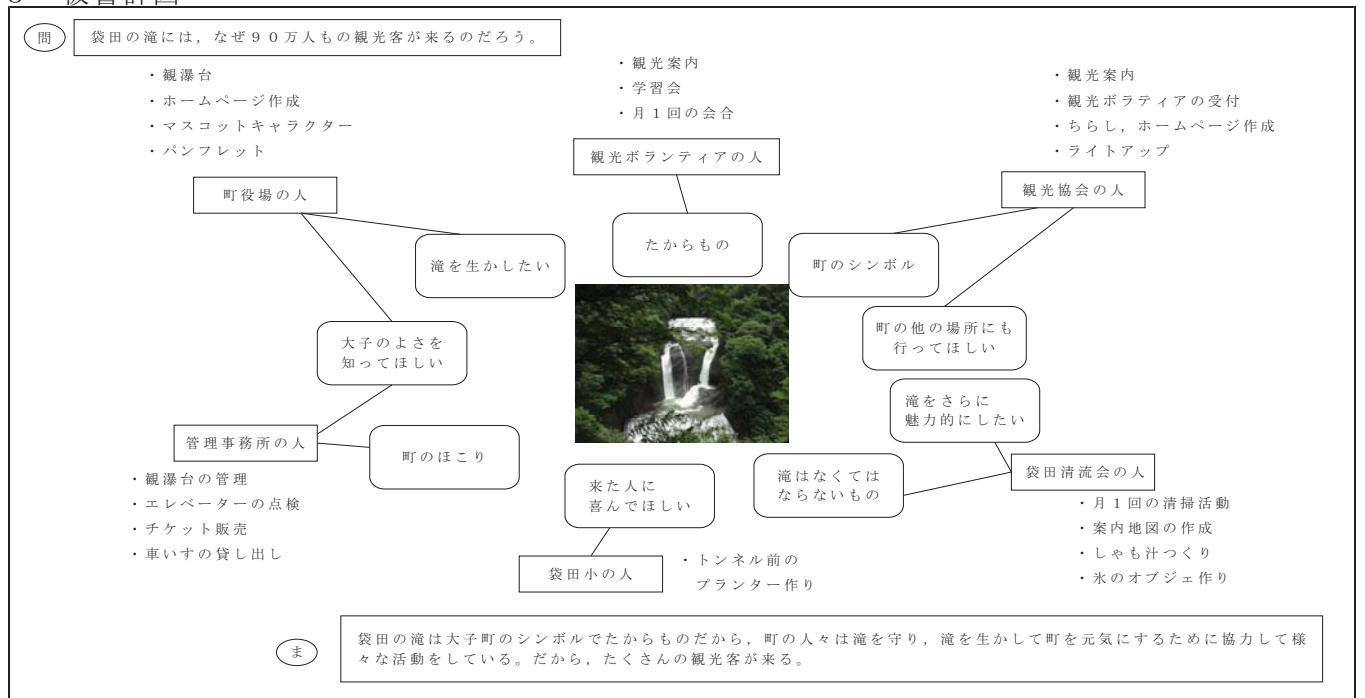
(2) 準備・資料

大子町の人たちの写真、ちらし、パンフレット、ふり返しカード

(3) 展開

学習内容・活動 (学習形態, 時間)	○指導上の留意点 ◎評価
<p>1 本時の学習課題をつかむ。(全体, 3分)</p> <p>問 袋田の滝には、なぜ90万人もの観光客が来るのだろう。</p> <p>2 袋田の滝にはなぜ90万人もの観光客が来るのか、調べて考えたことを報告し合い、話し合う。(全体, 32分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 観瀑台を作って、滝をすぐ近くで見られるように、役場の人考えたから。 ○ 役場の人キャラクターを作ったり、シャトルバスを走らせたりして工夫しているから。 ○ 観光協会の人やボランティアさんが観光客に親切に案内しているから。 ○ 清流会の人そうじをして滝のまわりをきれいにしてから。 ○ 袋田の滝は町にとってのシンボルで、みんなが大切にしているから。 ○ 袋田の滝は町の人にとって宝物なので、町の人みんなが協力しているいろいろなことをしているから。 ○ 滝を生かして観光をさかんにしようといろいろ工夫しているから、90万人も来るようになった。 <p>3 話し合ったことをもとに自分の考えを書き、学習のまとめをする。(個人, 10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 袋田の滝は大子の町の人にとって自然にできた宝物みたいなもので、大切にされているんだな。 ○ 袋田の滝をみんなに知ってほしいと思っっているいろいろな工夫をしているんだな。 ○ 袋田の滝を生かして観光をさかんにしようといろいろ協力して努力しているんだな。 <p>主 袋田の滝は大子町のシンボルで宝物だから、町の人々は滝を大切に守り、滝を生かして町を元気にするために協力して様々な活動をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時は、これまでに調べたことや、前時にまとめた自分の考えをもとにして話し合い、学習問題を解決する時間であることを確認する。 ○ だれがどのような活動を行っているのか、自分が調べたことを具体的な根拠として示しながら自分の考えを伝えるよう促す。 ○ 発表を通して役場や観光協会の人だけでなく、ボランティアなどでかわっている地域の人が多くいることに目を向けさせ、袋田の滝が大子町の人々の生活の中に溶け込んでいることに気づかせる。 ○ 大子町の人々はなぜそのような活動をしているのだろうと投げかけ、袋田の滝に対する地域の人々の思いや願いについても話し合うことができるようにする。 ○ 板書を工夫し、人々の活動の内容とその気持ちとを図式化しながらまとめるようにする。 ○ 人々の思いを伝えあうことで、立場は違っても袋田の滝を大切に思う気持ちは同じだということに気づかせる。 ◎ 袋田の滝に観光客を集めている理由を、地域の人々の思いや願いと結びつけて考え、自分の言葉で適切に表現することができる。(発言・ふり返しカード)

5 板書計画



研究の仮設	児童が新鮮な驚きをもてるような意外性のある資料を工夫して提示すれば、袋田の滝に観光客が集まる理由について主体的に調べようとする意欲が高まるであろう。
-------	--

1 単元名 特色ある地いきと人々の暮らし・袋田の滝をいかすまち（大子町）

2 目標

- 大子町の人々の生活に関心を持ち、意欲的に調べるとともに、その特色やよさを考えようとしている。
(社会的事象への関心・意欲・態度)
- 袋田の滝の観光客数に着目して学習問題や予想、学習計画を考え表現するとともに、大子町の人々は袋田の滝に代表される豊かな自然をいかしたまちづくりをしていることを考え適切に表現することができる。
(社会的な思考・判断・表現)
- 大子町の人々の生活について、地図や資料、インターネットなどを活用して情報を集め、よりよいまちづくりに努めている様子を読み取り、整理してまとめることができる。
(観察・資料活用の技能)
- 大子町の人々が、豊かな自然を保護・活用して、特色あるまちづくりに取り組んでいることを具体的に理解している。
(社会的事象についての知識・理解)

3 指導にあたって

(1) 児童の実態（男子15名、女子14名、計29名）

学区には、日本三大庭園の一つであり、歴史的にたいへん価値のある偕楽園がある。児童は、休日にその偕楽園で過ごしたり、偕楽園内にある石碑にかかれた「偕楽園記」の暗唱に取り組んだりしている。また、水戸の名産や歴史を紹介した「水戸郷土かるた」に親しみ、水戸の歴史上の人物や建物についてよく知っている。それらの活動を通して、水戸に住む人々は、文化財を守り、生かす取り組みをしていることを感じている。

一方児童は、水戸市以外にもいろいろな場所に出かけている。茨城県内では、かみね公園や袋田の滝、アクアワールド、ミュージアムパークなど、県北から県西までさまざまな観光地へ行った経験がある。しかし、それらの観光地については、名称は知っているものの、その施設等の場所やそこに住む人々との関わりについてはあまり関心をもっていない。

(2) 教材観

本単元は、学習指導要領の内容（5）のウにあたる。自然環境、伝統、文化などの地域の資源を保護・活用している地域や、そこに見られる人々の生活を調べることを通して、県全体の特色のよさを具体的に考えることができるようにするものである。自然環境、伝統や文化、産業などから見て、自分たちの住んでいる市とは異なる地域を選択して調べ、比較しながら県全体の特色をとらえることができるようにすることがねらいである。県北部に位置している大子町は、県有数の観光地として知られ、茶、リンゴ、こんにゃく、奥久慈しゃも等の特産物も多い。観光の中心となっている袋田の滝は、四季折々に姿を変えることや四段に流れ落ちるところから、四度の滝とも呼ばれている。平成20年には新観瀑台が完成し、滝の全景を上から眺めることができるようになった。マスコットキャラクターの決定、ライトアップの実施など、滝をPRする活動も活発に行われている。町役場や観光協会の人だけでなく、観光ボランティアや袋田清流会など様々な人たちが滝とかかわりながら観光業の発展に向けた活動を行っている。豊かな自然をいかしたまちづくりをしている地域として、学習指導要領のねらいにせまることのできる学習材であるといえる。

(3) 指導観

本単元では、自然をいかしたまちづくりに取り組んでいる大子町を取り上げ、町の象徴である袋田の滝に観光客が集まる理由を考えさせていくことを通して、特色ある町づくりに気付かせていきたい。

導入では、滝が凍るといった意外な姿や、袋田の滝は町の人口の45倍もの観光客を集めていることなど魅力のある資料を紹介することで、児童の興味を引きつける。なぜそんなに人が集まるのかについて、一人一人が意欲的に考え、調べてみたくなるような出会いとしたい。

観光客がたくさん集まる理由についてせまるために、パンフレット、新聞記事、インターネットなどを活用し、児童が自分の力で具体的に調べられるようにする。また、インタビューをしたり、ブログのコメントを読んだりすることで、袋田の滝を守りいかしてきた地域の人々の思いを実際に即して考えることができるようにする。袋田の滝に観光客が集まる理由について話し合う際には、それぞれの考えの根拠を明らかにしながら述べるようにする。友達のを自分の考えと比較しながら聞くことで、袋田の滝に対する人々の思いをさまざまな角度から考えられるようにしたい。

大子町について知り、自分たちの住んでいる水戸市と比較して類似点や相違点を見いだすことで、茨城県全体の特色をとらえることができるようになることを考える。この学習をきっかけとして、水戸市だけでなく茨城県全体のよさを知り、県に対し愛着をもって生活できるようにしていきたい。

4 本時の指導

(1) 目標

- 袋田の滝の観光客数に着目して学習問題を見出し、予想を立てて表現することができる。
(社会的な思考・判断・表現)

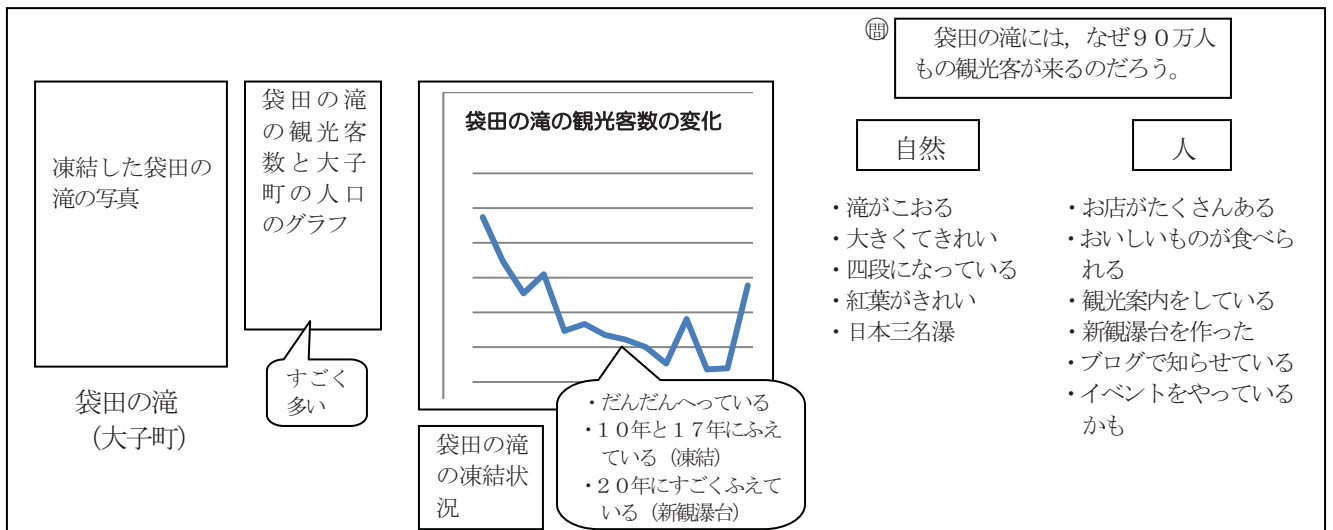
(2) 準備・資料

凍結した袋田の滝の写真，新観瀑台から見た滝の写真，袋田の滝の凍結状況，観光協会スタッフのブログ
グラフ（袋田の滝の観光客数と大子町の人口，袋田の滝の観光客数の変化）

(3) 展開

学習内容・活動 (学習形態，時間)	○指導上の留意点 ◎評価
<p>1 凍結した袋田の滝の写真と，観光客数のグラフを見て考えたことを話し合う。 (全体，10分)</p> <p>2 袋田の滝の観光客数の変化のグラフから気付いたことについて話し合い学習問題を考える。 (全体，15分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客がへっている ・平成20年に急に増えている ・平成10年と平成17年にも増えている <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成10年と平成17年は滝が凍っている ・滝が凍るとめずらしいから見に行くのかな ・平成20年には滝は凍っていないのに増えているのはなぜかな。 <p>㊦ 袋田の滝にはなぜ90万人もの観光客が来るのだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ アイスクライミングをしている場所が滝であることへの驚きから，袋田の滝に興味をもたせるようにする。 ○ 観光客数と大子町の人口とをグラフを使って視覚的に比較させ，観光客の多さに着目できるようにする。 ○ グラフから袋田の滝の観光客数の変化を読み取り，減少傾向にある観光客が増えている年があることに気付かせる。 ○ 1の活動で新観瀑台から見た通常の写真と年ごとの滝の凍結状況が分かる資料を配っておき，観光客が増えている年と，滝の凍結，新観瀑台の完成が関連していることに気付かせる。 ○ 観光協会のスタッフブログを紹介し，凍結を知らせる活動をしている人がいることに気付かせ，滝にかかわる人に着目するきっかけになるようにする。
<p>3 袋田の滝になぜ90万人もの観光客が来るのか予想をノートに書き，発表する。 (個人→全体，15分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四段になっていてきれいだから ・滝のほかにも近くに観光地があるから ・凍った滝を見たい人が多いから ・インターネットで滝のことを知らせている人がいるから ・おみやげを売っているから 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人が集まる理由について，自然に関することと，人が関わっていることを分けて板書し，観光客が集まる理由には，人が関わっていることを意識できるようにする。 ◎ 袋田の滝の観光客数に着目して学習問題を見出し，自分なりの予想を立てて表現することができる。 (発言，ノート) ○ 予想が立てられない児童は，友達の考えを参考にして自分の予想を考えるようにする。
<p>4 予想を集約し，今後の学習の見通しを立てる。 (全体，5分)</p>	

5 板書計画



活動の流れ							
第1次	<p><第1時>（2組本時）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 袋田の滝の観光客数のグラフを見て話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大子町の人口は2万人しかいないのに、90万人も観光客が来てすごい。 ・ 観光客は全体的に減っているのに、平成10年と17年は増えているよ。 ・ 滝が全部こおった年に観光客が増えているみたいだ。 ・ 平成20年には急激に増えている。滝はこおっていないのに増えているのはなぜかな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◎ 袋田の滝には、なぜ90万人もの観光客が来るのだろう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ なぜ90万人もの観光客が来るのか予想する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 滝がこおるから。 ・ 景色がきれいだから。 ・ 4段に落下してきれいだから。 ・ 季節によってちがう魅力があるから。 ・ 観瀑台をつくったから。 ・ 宣伝をしているから。 ・ キャラクターを作っているから。 ・ 何か工夫をしているから。 <p><第2時></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 予想したことをもとにして、調べる計画を立てる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 袋田の滝がどんな滝かもう少し詳しく調べてみよう。 ・ どうして観瀑台をつくったのかな。 ・ 宣伝はだれがしているんだろう。 ・ かかわりがありそうな人をさがそうよ。 ・ 滝に観光客を集めるためにどんなことをしているのか聞いてみよう。 ・ どうしてそんなことをしているのかも聞いてみるといいね。 						
第2次	<p><第3時></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 袋田の滝について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大子町にあり、水戸から約45km。 ・ 高さ120m、幅73m。 ・ 四度の滝と呼ばれている。 ・ ライトアップをしている。 ・ 清掃活動をしている人がいるんだね。 ・ 観光協会や役場のHPで紹介している。 ・ 観光案内をしている人もいるよ。 ・ パンフレットや地図も作られているね。 ・ 滝にかかっている人がたくさんいるみたいだ。 <p><第4～6時></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ それぞれが見つけた手がかりをもとに、袋田の滝にかかわる人々の活動やその思いについて調べ、袋田の滝になぜ90万人もの観光客が来るのか考える <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 16.6%; vertical-align: top;"> 役場の企画観光課の人 ・ ちらしやHPでPRしている。 ・ たき丸を作った。 ・ 新観瀑台を作った。 ・ シャトルバスを走らせる。 ・ いろいろな行事を企画している。 ※大子のよさをたくさんの人に知ってもらいたいから。 ※滝を生かして住んでいる人が豊かになるまちづくりをしたいから。 </td> <td style="width: 16.6%; vertical-align: top;"> 観光協会の人 ・ 窓口で観光案内をしている。 ・ HPやちらしで滝のよさを発信している。 ・ 観光ボランティアの申込を受け付けている。 ・ ライトアップの企画をしている。 ※滝は町にとってのシンボルだから。 ※滝に来た人に大子のほかに場所にも行ってほしいから。 </td> <td style="width: 16.6%; vertical-align: top;"> 観光ボランティアの人 ・ 観光案内をしている。 ・ 1年間学習会を開いて歴史などを勉強した。 ・ 月1回会合を開いて話し合う。 ※大子町を知ってもらおうきっかけになる。 ※滝は自然にできたもの。近くに住んでいる誇りがある。 ※ありがたいと言われるのがうれしい。 ※町のことをより深く知ることができきる。 </td> <td style="width: 16.6%; vertical-align: top;"> 袋田清流会の人 ・ 観光地図を作っている。 ・ 毎月1回清掃活動をしている。 ・ 休耕田にレンゲ草の種まき。 ・ ライトアップの時にしやも汁を配る。 ・ 氷のオブジェを作る。 ※滝は美しい。水量の多い滝や凍った滝も見してほしい。 ※生活していくうえでなくてはならないもの。 ※魅力的な滝にしていきたい。 </td> <td style="width: 16.6%; vertical-align: top;"> 管理事務所の人 ・ 観瀑台の管理をしている。 ・ エレベーターの運行前の点検。 ・ チケットの販売、エレベーターの案内。 ・ トイレや駐車場の管理。 ・ 車の貸し出し。 ※滝は大子町の象徴であり、ほこりである。 ※知名度をあげたい。 ※すばらしいのが楽しみ。 </td> <td style="width: 16.6%; vertical-align: top;"> 袋田小学校の小学生 ・ ひとり鉢プラントを作り、観瀑台入り口に飾っている。 ※滝に来たみんなに喜んでほしい。 </td> </tr> </table>	役場の企画観光課の人 ・ ちらしやHPでPRしている。 ・ たき丸を作った。 ・ 新観瀑台を作った。 ・ シャトルバスを走らせる。 ・ いろいろな行事を企画している。 ※大子のよさをたくさんの人に知ってもらいたいから。 ※滝を生かして住んでいる人が豊かになるまちづくりをしたいから。	観光協会の人 ・ 窓口で観光案内をしている。 ・ HPやちらしで滝のよさを発信している。 ・ 観光ボランティアの申込を受け付けている。 ・ ライトアップの企画をしている。 ※滝は町にとってのシンボルだから。 ※滝に来た人に大子のほかに場所にも行ってほしいから。	観光ボランティアの人 ・ 観光案内をしている。 ・ 1年間学習会を開いて歴史などを勉強した。 ・ 月1回会合を開いて話し合う。 ※大子町を知ってもらおうきっかけになる。 ※滝は自然にできたもの。近くに住んでいる誇りがある。 ※ありがたいと言われるのがうれしい。 ※町のことをより深く知ることができきる。	袋田清流会の人 ・ 観光地図を作っている。 ・ 毎月1回清掃活動をしている。 ・ 休耕田にレンゲ草の種まき。 ・ ライトアップの時にしやも汁を配る。 ・ 氷のオブジェを作る。 ※滝は美しい。水量の多い滝や凍った滝も見してほしい。 ※生活していくうえでなくてはならないもの。 ※魅力的な滝にしていきたい。	管理事務所の人 ・ 観瀑台の管理をしている。 ・ エレベーターの運行前の点検。 ・ チケットの販売、エレベーターの案内。 ・ トイレや駐車場の管理。 ・ 車の貸し出し。 ※滝は大子町の象徴であり、ほこりである。 ※知名度をあげたい。 ※すばらしいのが楽しみ。	袋田小学校の小学生 ・ ひとり鉢プラントを作り、観瀑台入り口に飾っている。 ※滝に来たみんなに喜んでほしい。
役場の企画観光課の人 ・ ちらしやHPでPRしている。 ・ たき丸を作った。 ・ 新観瀑台を作った。 ・ シャトルバスを走らせる。 ・ いろいろな行事を企画している。 ※大子のよさをたくさんの人に知ってもらいたいから。 ※滝を生かして住んでいる人が豊かになるまちづくりをしたいから。	観光協会の人 ・ 窓口で観光案内をしている。 ・ HPやちらしで滝のよさを発信している。 ・ 観光ボランティアの申込を受け付けている。 ・ ライトアップの企画をしている。 ※滝は町にとってのシンボルだから。 ※滝に来た人に大子のほかに場所にも行ってほしいから。	観光ボランティアの人 ・ 観光案内をしている。 ・ 1年間学習会を開いて歴史などを勉強した。 ・ 月1回会合を開いて話し合う。 ※大子町を知ってもらおうきっかけになる。 ※滝は自然にできたもの。近くに住んでいる誇りがある。 ※ありがたいと言われるのがうれしい。 ※町のことをより深く知ることができきる。	袋田清流会の人 ・ 観光地図を作っている。 ・ 毎月1回清掃活動をしている。 ・ 休耕田にレンゲ草の種まき。 ・ ライトアップの時にしやも汁を配る。 ・ 氷のオブジェを作る。 ※滝は美しい。水量の多い滝や凍った滝も見してほしい。 ※生活していくうえでなくてはならないもの。 ※魅力的な滝にしていきたい。	管理事務所の人 ・ 観瀑台の管理をしている。 ・ エレベーターの運行前の点検。 ・ チケットの販売、エレベーターの案内。 ・ トイレや駐車場の管理。 ・ 車の貸し出し。 ※滝は大子町の象徴であり、ほこりである。 ※知名度をあげたい。 ※すばらしいのが楽しみ。	袋田小学校の小学生 ・ ひとり鉢プラントを作り、観瀑台入り口に飾っている。 ※滝に来たみんなに喜んでほしい。		
	<p><第7時>（1組本時）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 調べたことをもとに、なぜ袋田の滝に90万人もの観光客が来るのか話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 観瀑台を作って、滝をすぐ近くで見られるように、役場の人考えたから。 ・ 役場の人キャラクターを作ったり、シャトルバスを走らせたりして工夫しているから。 ・ 観光協会の人やボランティアさんが観光客に親切に案内しているから。 ・ 清流会の人そうじをして滝のまわりをきれいにしているから。 ・ 袋田の滝は町にとってのシンボルで、みんなが大切にしているから。 ・ 袋田の滝は町の人にとって宝物なので、町の人みんなが協力しているいろいろなことをしているから。 ・ 滝を生かして観光をさかんにしようという工夫しているから、90万人も来るようになった。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◎ 袋田の滝は大子町のシンボルで宝物だから、町の人々は滝を大切に守り、滝を生かして町を元気にするために協力して様々な活動をしている。</p> </div>						

◇ 袋田の滝の観光客数に着目して学習問題を見だし、予想を立てて表現することができる。（思・判・表）

◇ 袋田の滝に観光客が集まる理由について関心をもち、意欲的に調べようとしている。（関・意・態）

◇ 予想をもとにして、学習の計画を考え、表現することができる。（思・判・表）

◇ 資料を活用して袋田の滝がどのようなところなのか調べ、整理してまとめることができる。（技能）

◇ 袋田の滝にかかっている人々の活動の様子や思いを進んで調べようとしている。（関・意・態）

◇ 袋田の滝にかかっている人々について集めた情報から、よりよいまちづくりに努めている様子を読み取り、整理してまとめることができる。（技能）

◇ 大子町の人々が袋田の滝を生かすために様々な活動をしていることがわかる。（知・理）

◇ 袋田の滝になぜたくさんの観光客が来るのか、地域の人の思いや願いとまちづくりの特色とを結びつけて自分の言葉で適切に表現している。（思・判・表）